



平成 28 年

救急統計

Emergency Med.serv. statistics 2016

薩摩川内市消防局

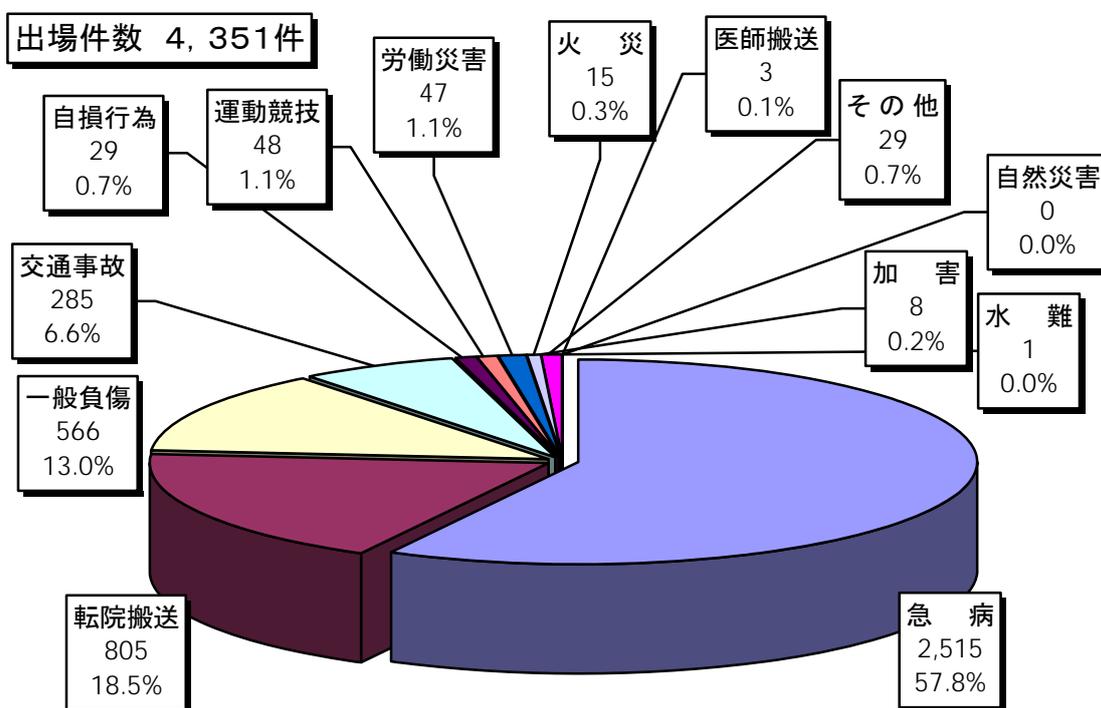
目 次

1	救急概要	1
2	救急活動状況	3
	過去10年間の出場状況	4
3	傷病程度別搬送状況	5
4	年齢区分別搬送状況	6
5	地域別出場件数状況	8
6	地域別年齢区分別搬送者の推移	9
7	救急隊別出場件数状況	12
8	現場到着所要時間出場件数状況	13
9	救急隊員応急処置実施件数状況	14
10	救急隊・救急救命士の現況	15
11	住民に対する応急手当普及啓発活動状況	16
12	CPA患者社会復帰状況	17

1 救急概要

(1) 救急出場件数及び搬送人員

平成28年中は、4,351件出場し、3,928人を搬送しました。これは、昨年と比較して、出場件数で178件、搬送人員で123人の増加となりました。



(2) 事故種別及び搬送人員

事故種別では、急病によるものが最も多く2,515件で全体の57.8%を占め、次いで転院搬送の805件(18.5%)、一般負傷の566件(13.0%)、交通事故の285件(6.6%)となっています。

搬送人員でも、急病によるものが多く2,241人で全体の57.1%を占め、次いで転院搬送の755人(19.2%)、一般負傷の513人(13.1%)となっています。

(3) 搬送医療機関等

医療機関別搬送状況は、救急告示医療機関[※]へ2,881人(73.3%)、その他の医療機関等へ1,047人(26.7%)を搬送しました。

搬送医療機関先は、管轄内の医療機関へ3,581人(91.2%)、管轄外の医療機関へ347人(8.8%)搬送しました。

※ 救急告示医療機関：救急隊によって搬送される患者を受け入れる医療機関の確保のため、救急医療を行うことを表明している病院・診療所のこと。救急病院等を定める省令に基づき、県知事が認定します。

管内では、川内市医師会立市民病院、済生会川内病院、市比野記念病院、上村病院、森園病院、高江記念病院の6医療機関。

(4) 甑島からの島外搬送

甑島からの島外搬送は、平成28年中に90件(上甑地域31件、里地域12件、下甑地域44件、鹿島地域3件)あり、昨年より8件の増でした。

島外搬送手段としては、船舶が80件(フェリーニューこしき39件、高速船甑島21件、漁船20件)、ヘリコプターが10件(鹿児島県ドクターヘリ7件、自衛隊ヘリ3件)となっています。

島外搬送における収容先は、鹿児島市へ36件、いちき串木野市へ39件、薩摩川内市へ15件となっています。

(5) 救急救命士の処置状況

消防局には37人の救急救命士が勤務していますが、うち気管挿管認定救命士が26人、薬剤投与認定救命士が37人(うちブドウ糖投与・血糖値測定認定11人)配置されています。

平成28年中に発生した重度傷病者(心肺機能停止患者)は137人で、77人を医療機関へ搬送し、うち67人に対し特定行為を実施しました。

特定行為の内訳は、気道確保(コンビチューブ・ラリングアルチューブ)1回、気管挿管24回、静脈路確保(輸液)40回、薬剤投与14回(うちブドウ糖投与1回)でした。

昨年と比較すると、搬送した重度傷病者は11人減少しています。

2 救急活動状況

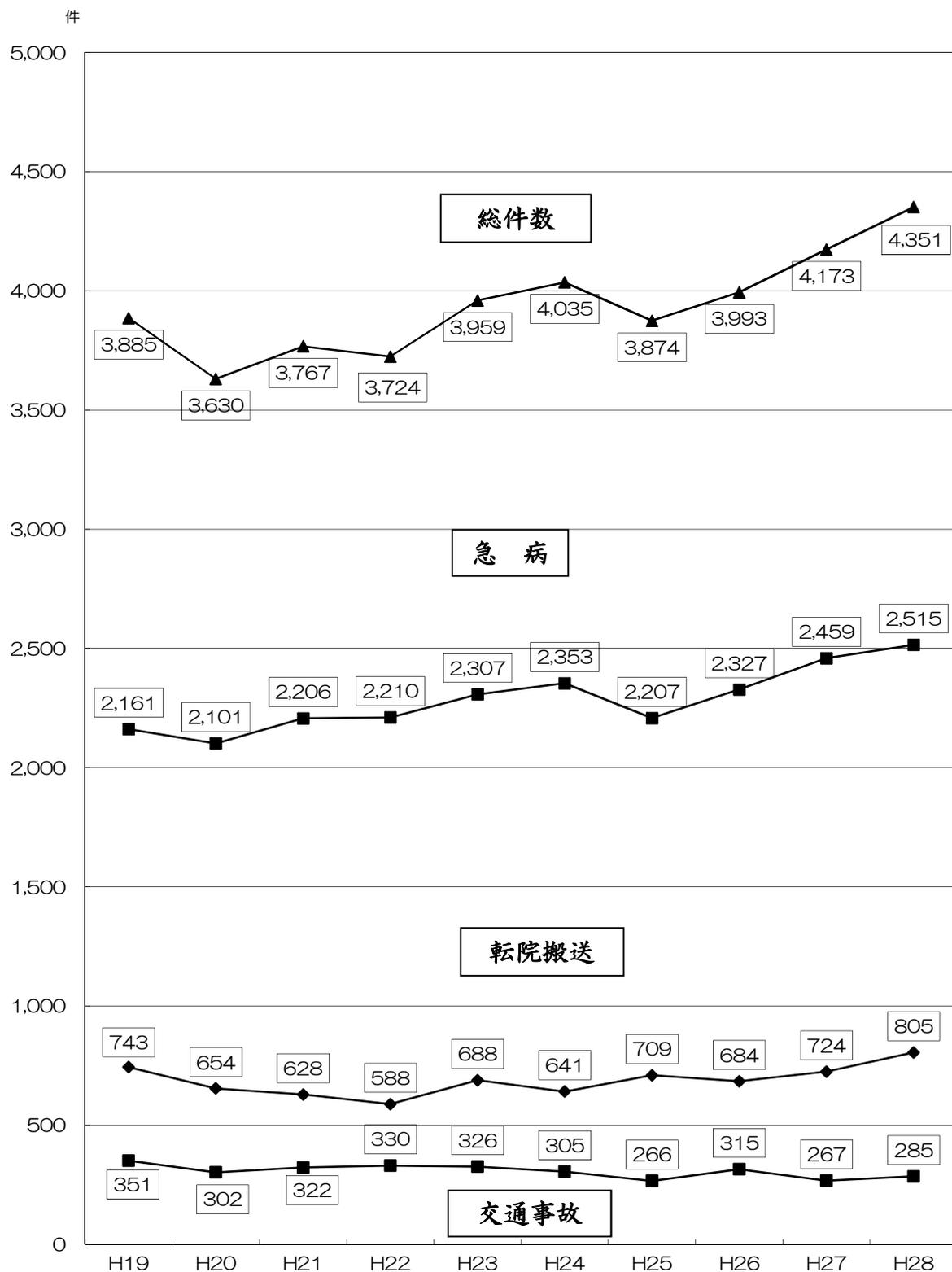
() は割合
前年比、▲は減

年 事故種別	出 場 件 数				搬 送 人 員				
	28 年	27 年	前 年 比	構 成 比	28 年	27 年	前 年 比	構 成 比	
火 災	15 (0.3)	20 (0.4)	▲ 5	0.3%	2 (0.1)	6 (0.1)	▲ 4	0.1%	
自然災害	0 (0.0)	1 (0.0)	▲ 1	0.0%	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0.0%	
水 難	1 (0.0)	5 (0.1)	▲ 4	0.0%	1 (0.0)	4 (0.1)	▲ 3	0.0%	
交通事故	285 (6.6)	267 (7.9)	18	6.6%	295 (7.5)	278 (7.1)	17	7.5%	
労働災害	47 (1.1)	35 (0.7)	12	1.1%	45 (1.2)	33 (0.8)	12	1.1%	
運動競技	48 (1.1)	41 (1.0)	7	1.1%	49 (1.3)	41 (1.1)	8	1.2%	
一般負傷	566 (13.0)	540 (12.4)	26	13.0%	513 (13.1)	510 (12.6)	3	13.1%	
加 害	8 (0.2)	18 (0.2)	▲ 10	0.2%	6 (0.2)	12 (0.2)	▲ 6	0.2%	
自損行為	29 (0.7)	37 (1.1)	▲ 8	0.7%	17 (0.4)	22 (0.6)	▲ 5	0.4%	
急 病	2,515 (57.8)	2,459 (58.3)	56	57.8%	2,241 (57.1)	2,216 (58.3)	25	57.1%	
その他	転院搬送	805 (18.5)	724 (17.1)	81	18.5%	755 (19.2)	678 (17.4)	77	19.2%
	医師搬送	3 (0.1)	2 (0.1)	1	0.1%	0 (0.0)	0 (0.0)	0	0.0%
	その他	29 (0.7)	24 (0.8)	5	0.7%	4 (0.1)	5 (0.2)	▲ 1	0.1%
合 計	4,351	4,173	178	100.0%	3,928	3,805	123	100.0%	

深夜帯における出場状況 (23:00 ~ 8:30)

	総件数	うち深夜帯		総件数(転院搬送除く)	うち深夜帯(転院搬送除く)	
平成28年	4,351	965	22.2%	3,546	893	25.3%
平成27年	4,173	930	22.3%	3,449	855	24.8%

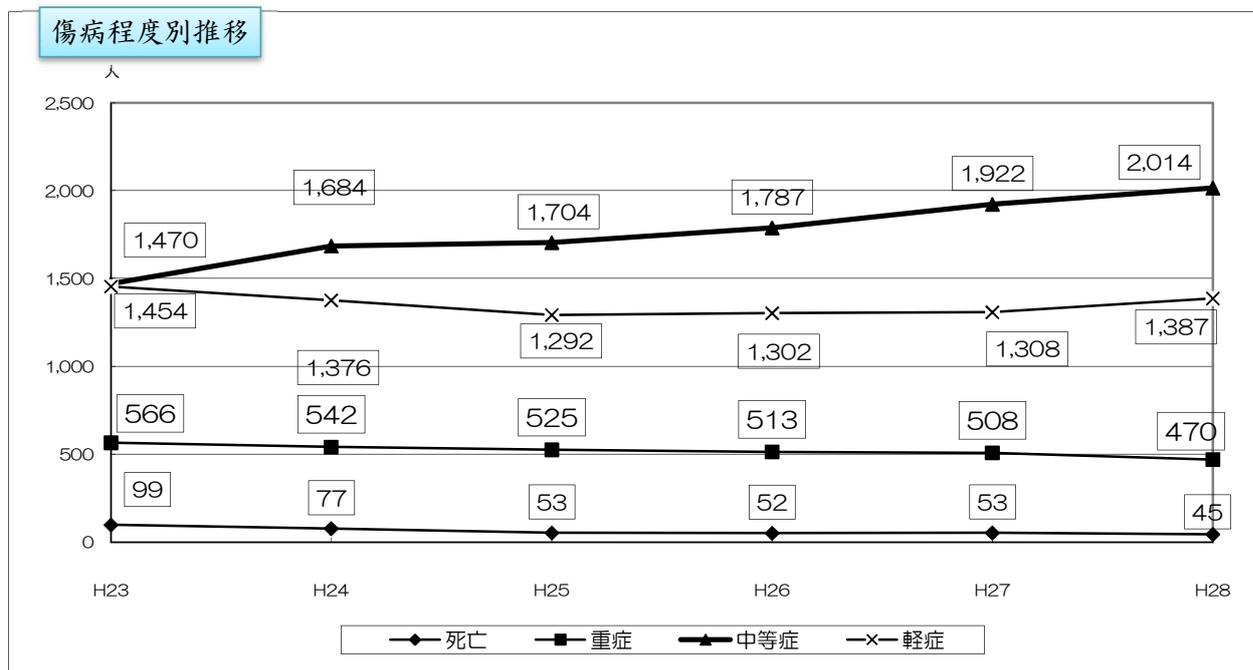
過去10年間の出場状況



3 傷病程度別搬送状況

事故種別 \ 程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火災			2			2
自然災害						
水難	1					1
交通事故		12	89	194		295
労働災害		8	23	14		45
運動競技		2	19	28		49
一般負傷	3	63	247	198	2	513
加害				6		6
自損行為	2	2	7	6		17
急病	39	192	1,092	918		2,241
転院搬送		190	535	22	8	755
その他		1		1	2	4
合計	45	470	2,014	1,387	12	3,928
構成比(%)	1.2	12.0	51.3	35.3	0.3	100.0
前年	53	508	1,922	1,308	14	3,805
前年比	▲ 8	▲ 38	92	79	▲ 2	123

死亡 死亡と診断されたもの
 重症 3週間以上の入院加療が必要なもの
 中等症 入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽症 軽易で入院を必要としないもの



軽症者搬送割合の推移

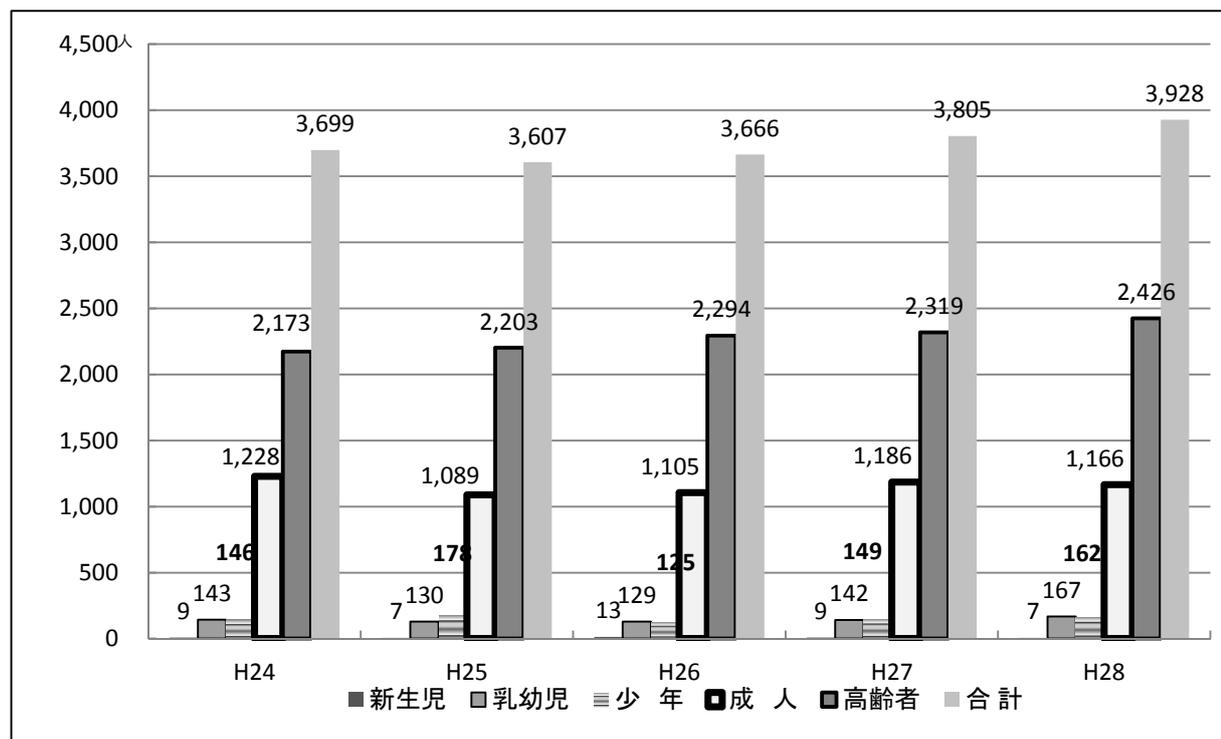
事故種別 \ 年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
軽症者の割合 (%)	39.8	35.2	36.3	38	40	37.2	35.8	35.5	34.4	35.3
急病	43.2	38.3	37.2	41.1	44.3	38.0	39.8	38.6	37.6	41.0
交通事故	71.1	61.7	68.9	67.1	68.0	73.4	69.7	62.8	63.7	65.8
一般負傷	45.5	40.8	44.3	38.8	40.7	46.6	39.8	43.9	43.9	38.6
その他	8.3	7.0	7.8	8.8	10.3	12.4	10.9	4.3	3.2	8.8

4 年齢区分別搬送状況

事故種別 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災				1	1	2
自然災害						
水難					1	1
交通事故		13	43	159	80	295
労働災害				37	8	45
運動競技			26	19	4	49
一般負傷		38	9	89	377	513
加害				6		6
自損行為			1	13	3	17
急病		104	70	645	1,422	2,241
転院搬送	6	12	13	195	529	755
その他	1			2	1	4
合計	7	167	162	1,166	2,426	3,928
構成比(%)	0.2	4.3	4.1	29.7	61.8	100.0
前年	9	142	149	1,186	2,319	3,805
前年比	▲2	25	13	▲20	107	123

新生児 生後28日未満
 乳幼児 生後28日以上満7歳未満
 少年 満7歳以上満18歳未満
 成人 満18歳以上満65歳未満
 高齢者 満65歳以上

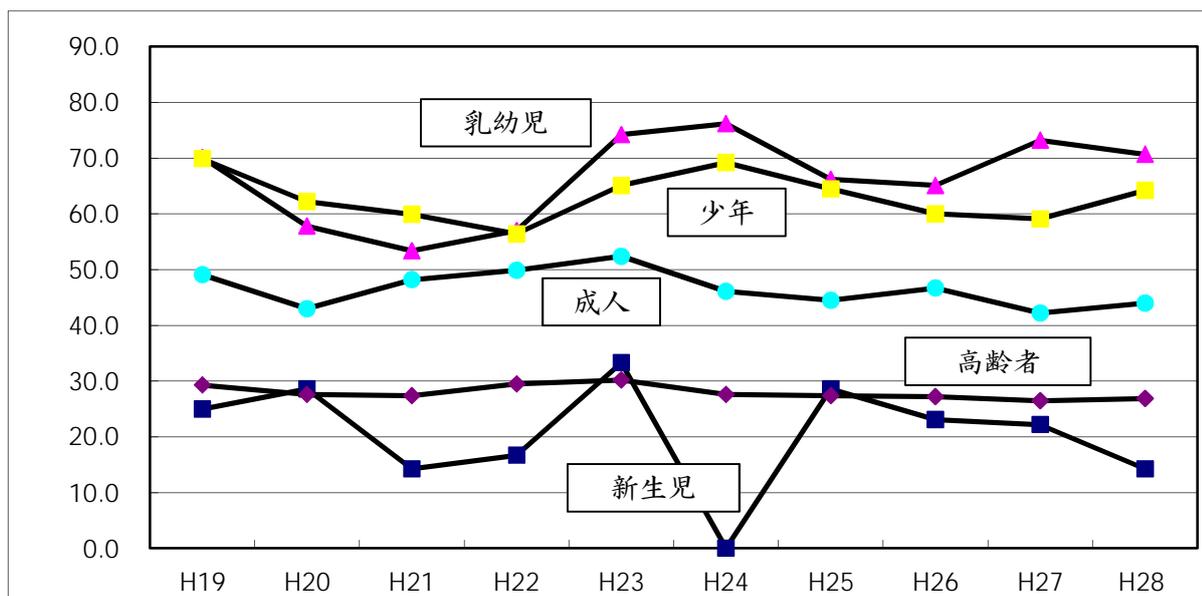
年齢区分別推移



年齢区分別軽症者搬送割合推移

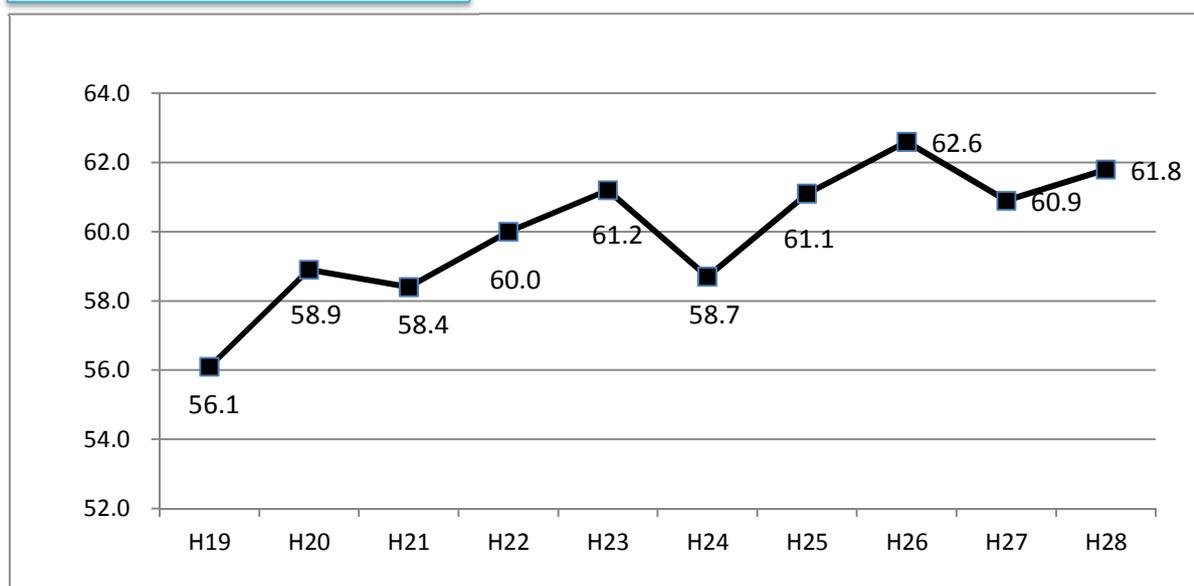
(%)

年区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
新生児	25.0	28.6	14.3	16.7	33.3	0.0	28.6	23.1	22.2	14.3
乳幼児	70.1	57.8	53.4	57.0	74.2	76.2	66.2	65.1	73.2	70.7
少年	69.9	62.2	59.9	56.4	65.1	69.2	64.5	60.0	59.1	64.2
成人	49.1	43.0	48.2	49.9	52.4	46.1	44.5	46.7	42.2	44.0
高齢者	29.3	27.6	27.4	29.5	30.2	27.6	27.4	27.2	26.5	26.9
全体	39.8	35.2	39.8	37.3	40.0	37.2	35.8	35.5	34.4	35.3



高齢者の搬送割合推移

(%)



5 地域別救急出場状況

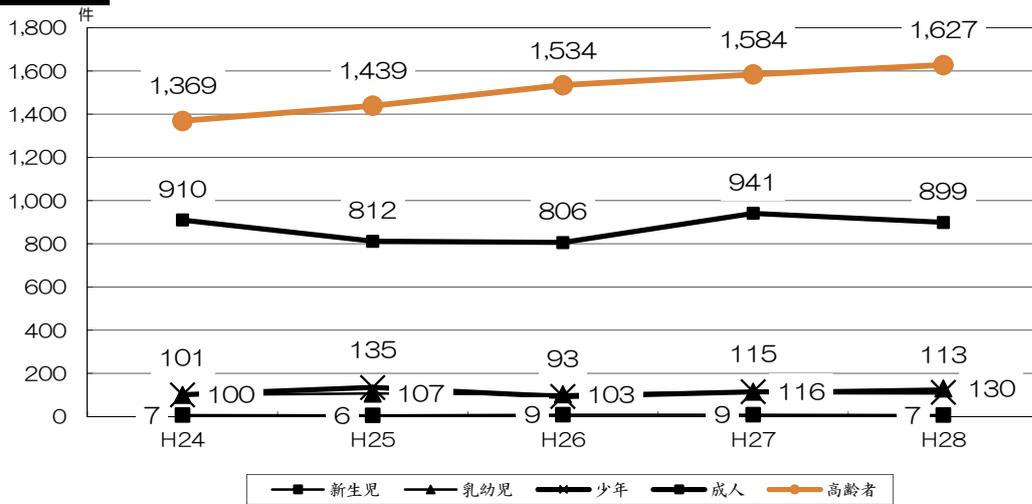
()は、前年

地域 種別	川 内	樋 脇	入 来	東 郷	祁 答 院	里	上 甌	下 甌	鹿 島	串 木 野	そ の 他	合 計	比 較
火災	9 (14)	(2)	2 (1)		1 (3)	1		2				15 (20)	▲ 5
自然災害								(1)				1	▲ 1
水難事故	1 (4)			(1)								1 (5)	▲ 4
交通事故	200 (192)	26 (22)	27 (22)	15 (21)	12 (5)			2 (2)	1 (1)		2 (2)	285 (267)	18
労働災害	35 (24)	2 (3)	2 (4)	2 (3)	5 (1)	1						47 (35)	12
運動競技	31 (27)	10 (7)	2	4 (4)	1 (1)		(1)	(1)				48 (41)	7
一般負傷	373 (357)	45 (43)	33 (39)	27 (26)	40 (32)	5 (4)	12 (15)	22 (15)	2 (4)	6 (5)	1	566 (540)	26
加害	7 (16)	1	(1)		(1)							8 (18)	▲ 10
自損行為	20 (25)	3 (4)	(3)	4 (3)	(1)	1		1 (1)				29 (37)	▲ 8
急病	1,732 (1,761)	255 (205)	135 (168)	123 (107)	121 (95)	13 (13)	26 (30)	81 (58)	22 (13)	4 (9)	3	2,515 (2,459)	56
転院搬送	606 (542)	50 (35)	18 (20)	(1)	12 (11)	12 (22)	25 (23)	48 (32)	5 (8)	27 (30)	2	805 (724)	81
その他	24 (18)	3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	(1)		(2)				32 (26)	6
合計	3,038 (2,980)	395 (323)	220 (259)	177 (167)	194 (151)	33 (40)	63 (69)	156 (112)	30 (26)	37 (44)	8 (2)	4,351 (4,173)	178

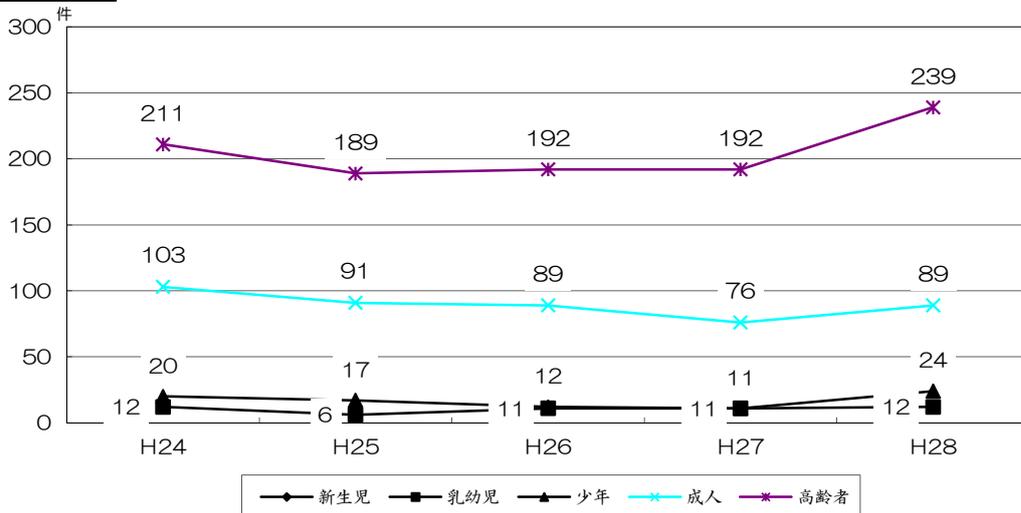
※ その他・・・傷病者不搬送件数のうち、救急事故種別に分類されないもの

6 地域別年齢区分別搬送者の推移(1/3)

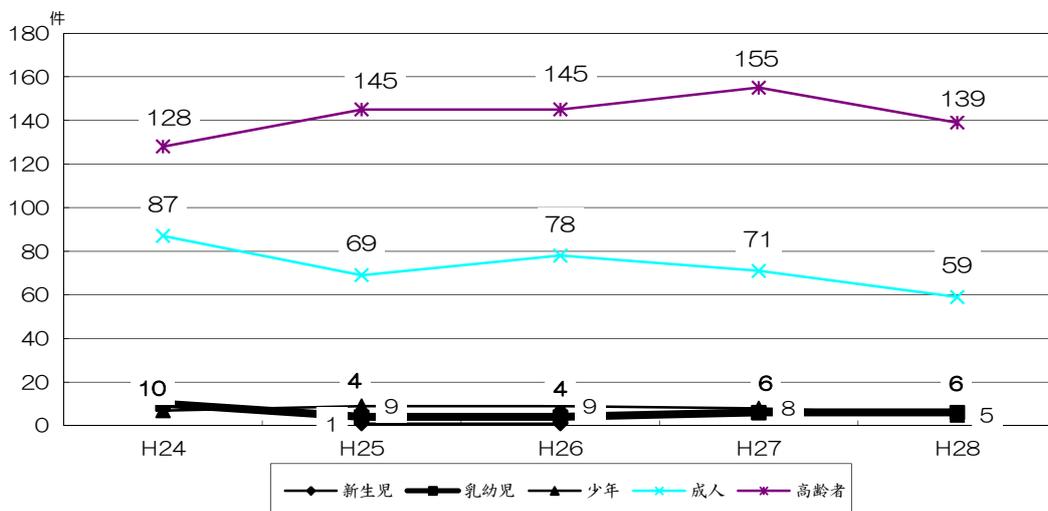
川内地域 2,776人



樋脇地域 364人

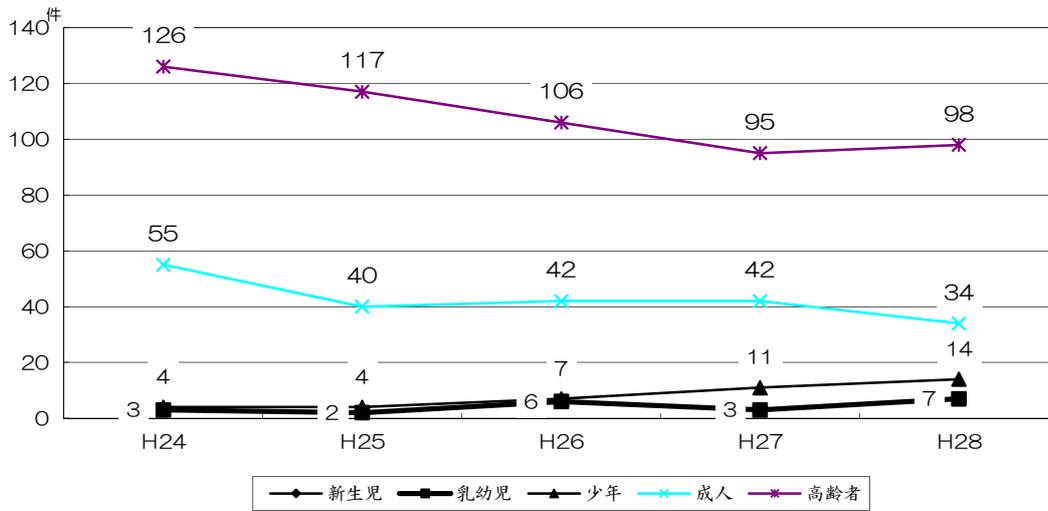


入来地域 209人

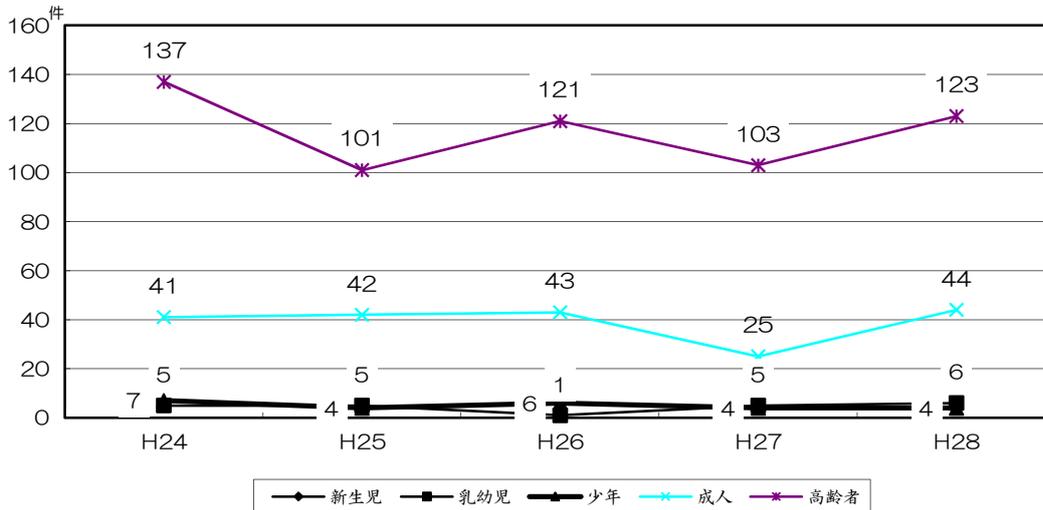


6 地域別年齢区分別搬送者の推移(2/3)

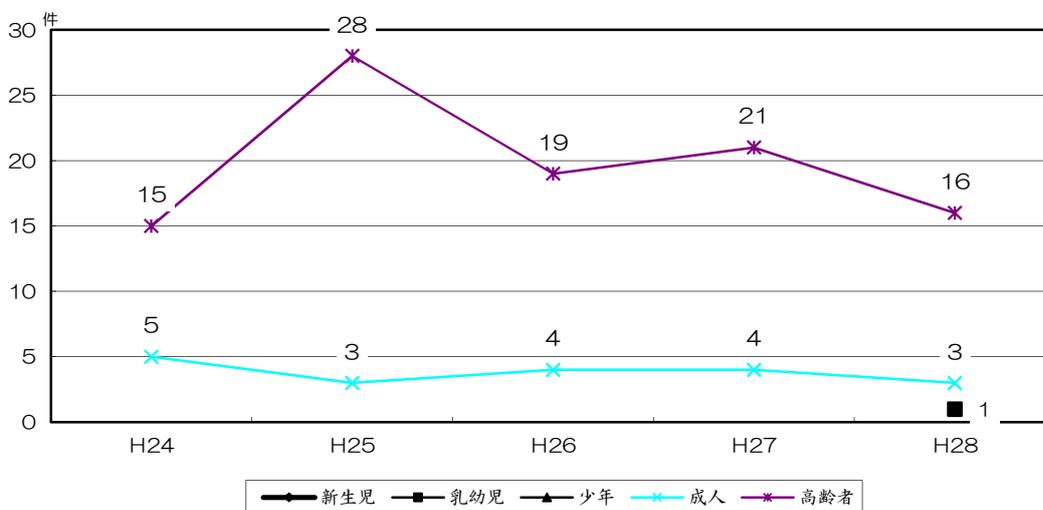
東郷地域 153人



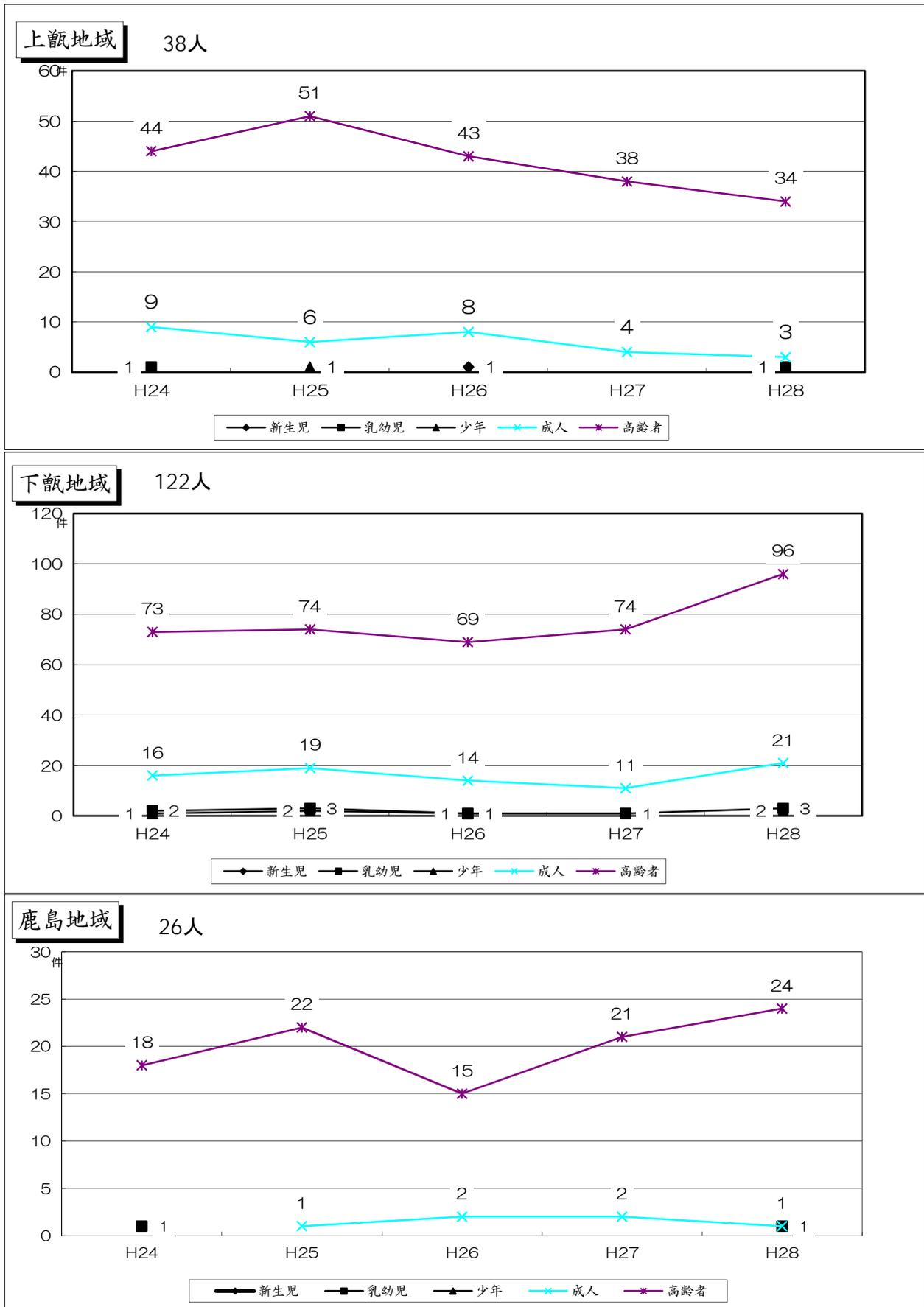
祁答院地域 177人



里地域 20人



6 地域別年齢区分別搬送者の推移(3/3)



7 救急隊別出場件数状況

救急隊 事故種別	中央署					東部署		西部署	合 計	※ P A連携				合 計		
	小 計	中央 高規格	二次 救急	三次 救急	上 甑 救急	下 甑 救急	東 部 高 規 格	祁 答 院 高 規 格		西 部 高 規 格	中 央 署 管 内	東 部 署 管 内	祁 答 院 分 署 管 内		西 部 署 管 内	
火 災	9	6	3		1	2		1	2	15						
自然災害																
水 難	1	1								1	1				1	
交 通	194	150	44			3	43	15	30	285	39	14	7	7	67	
労働災害	26	19	7		1		4	5	11	47	7	1		3	11	
運動競技	34	27	5	2			12	2		48						
一般負傷	349	283	64	2	17	25	76	45	54	566	27	3	4	2	36	
加 害	6	2	4				1		1	8						
自損行為	22	18	4		1	1	3		2	29	9	1		1	11	
急 病	1,521	1,235	285	1	39	102	415	122	316	2,515	174	31	7	36	248	
その他	転院搬送	553	357	196		37	53	85	12	65	805	7			1	8
	医師搬送	3		3							3	1				1
	その他	15	14	1			5	2	7	29	1	1		1	3	
合 計	2,733	2,112	616	5	96	186	644	204	488	4,351	266	51	18	51	386	
(前年)	(2,766)	(2,172)	(589)	(5)	(109)	(138)	(603)	(170)	(387)	(4,173)	(283)	(68)	(16)	(39)	(406)	
構成比	62.8	-	-	-	2.2	4.3	14.8	4.7	11.2	100.0						

※ P A連携 ポンプ車 (Pumper) と救急車 (Ambulance) が同時に出場するものであり、双方の頭文字から「PA」と名前をつけたものです。
心肺停止患者等の重篤な患者の現場や山中等の搬送困難な現場において、救急活動を実施する人員を増やすことにより、応急手当や救急車までの搬送時間を短縮し、救命率を上げることを目的として、救急車に加えてポンプ車などの消防車を同時に出場させています。

8 現場到着所要時間別出場件数状況

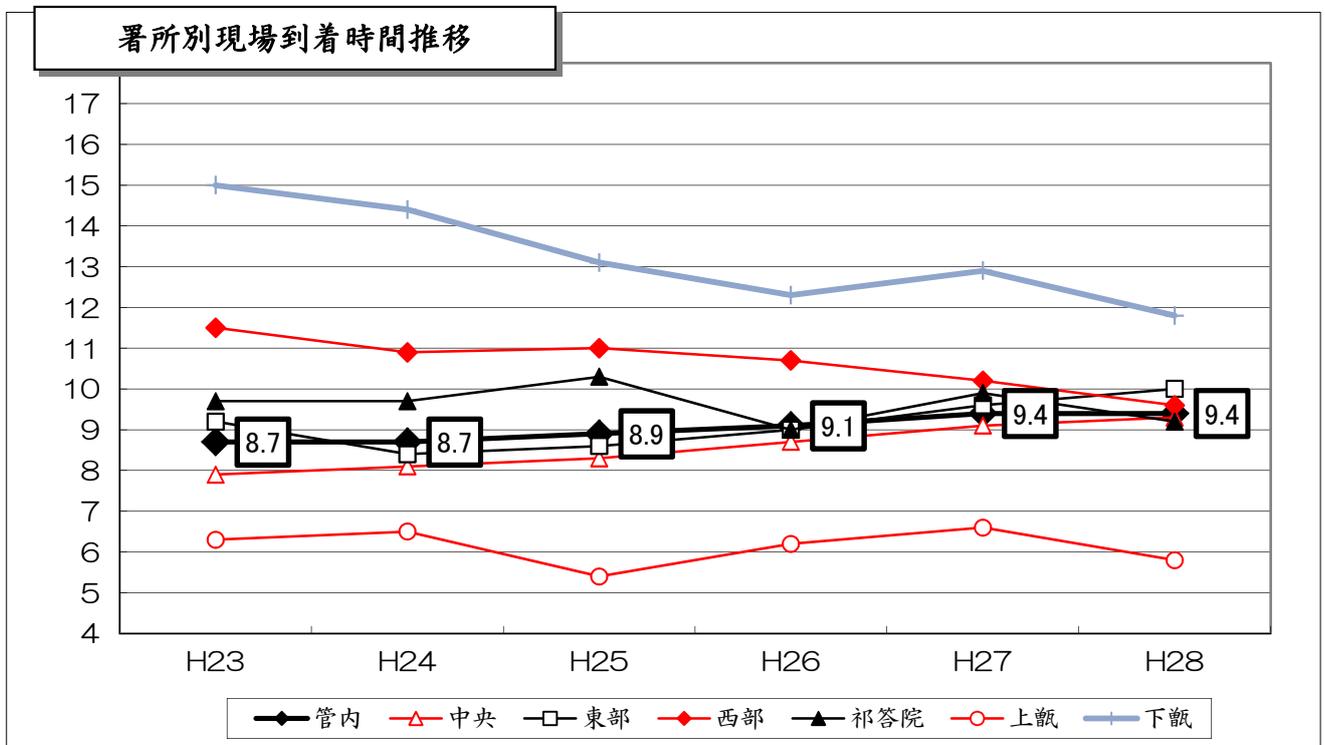
事故種別 到着時間	急病	交通	一般負傷	その他	計
3分未満	48	5	19	96	168
3分以上 5分未満	127	29	43	178	377
5分以上 10分未満	1,229	145	274	440	2,088
10分以上 20分未満	1,036	99	212	244	1,591
20分以上	75	7	18	27	127
計	2,515	285	566	985	4,351
現場到着 最短所要時間	1分未満	1分未満	1分未満	1分未満	
現場到着 最長所要時間	※1 39分	※2 44分	※3 35分	※4 29分	
現場到着 平均所要時間	10.0分	9.6分	9.7分	7.9分	9.4分

※1 他事案対応後、出場したため。

※2 他署管轄区域内からの増隊要請のため、現着に時間を要した。

※3 他署管轄区域内からの増隊要請のため、現着に時間を要した。

※4 他署管轄区域内への出場要請のため、現着に時間を要した。



※現場到着時間

消防の覚知時刻（119番入電時刻）から、現場に到着するまでの時間をいう。

9 救急隊員応急処置実施件数状況

事故種別		事故種別				合計	前年	前年比		
		急病	交通事故	一般負傷	その他					
応急処置	止血	14	15	38	11	78	81	▲ 3		
	固定	3	65	45	21	134	118	16		
	心肺蘇生	61	1	5	6	73	89	▲ 16		
	酸素吸入	410	13	22	192	637	663	▲ 26		
	気道確保 ただし、※1,2,3を除く	64		4	11	79	84	▲ 5		
	保温	54	1	13	14	82	284	▲ 202		
	被覆	6	61	111	21	199	189	10		
	除細動	11		1	1	13	12	1		
拡大 応急 処置	在宅療法継続		3		2	1	6	6	0	
	※1	経鼻エアウェイ	4			1	5	7	▲ 2	
		咽頭鏡・鉗子	1		1		2	3	▲ 1	
		ショックパンツ					0	0	0	
		血圧測定	2,059	269	462	748	3,538	3,453	85	
		聴診器による心音・呼吸音等聴取	589	82	52	106	829	773	56	
		血中酸素飽和度測定	2,144	282	487	848	3,761	3,635	126	
		心電図	1,214	46	121	241	1,622	1,635	▲ 13	
	特定 行為	静脈路確保	CPA前	1				1		
			CPA後	33	1	2	3	39	33	6
		※2	ラリングアルマスク等	1				1	3	▲ 2
		※3	気管挿管	18	1	4	1	24	29	▲ 5
		薬剤投与	アドレナリン	10				10	13	▲ 3
ブドウ糖			1				1			
		血糖値測定	4				4			
その他の応急処置		1,720	133	313	333	2,499	2,096	403		
処置人員		2,228	285	507	865	3,885	3,760	125		
構成比		57.4	7.3	13.1	22.3	100.0				

※ 静脈路確保（CPA前）、血糖値測定、薬剤投与（ブドウ糖）については、本年から有資格者が誕生したことによる。

10 救急隊・救急救命士の現況

【平成29年1月1日現在】

(1) 救急隊・救急救命士の配置状況

所 属	救急隊数	救急救命士数	備 考
消防本部		3	警防課1 通信指令課2
中央消防署	2	11	
南部分署		2	
上甗分駐所	1	2	
下甗分駐所	1	2	
東部消防署	1	7	
祁答院分署	1	4	
西部消防署	1	6	
合 計	7	37	

(2) 救急救命士の資格認定状況

資 格	認定者	備 考
救急救命士	37	
気管挿管	26	
ビデオ喉頭鏡※	8	・講習修了者
静脈路確保(輸液)	37	
心肺停止前実施※	11	
薬剤投与(アドレナリン)	37	
血糖測定・ブドウ糖投与※	11	
指導救命士講習修了	4	

※については、平成26年4月1日救急救命士法改正に伴い、処置拡大が図られた。

1 1 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

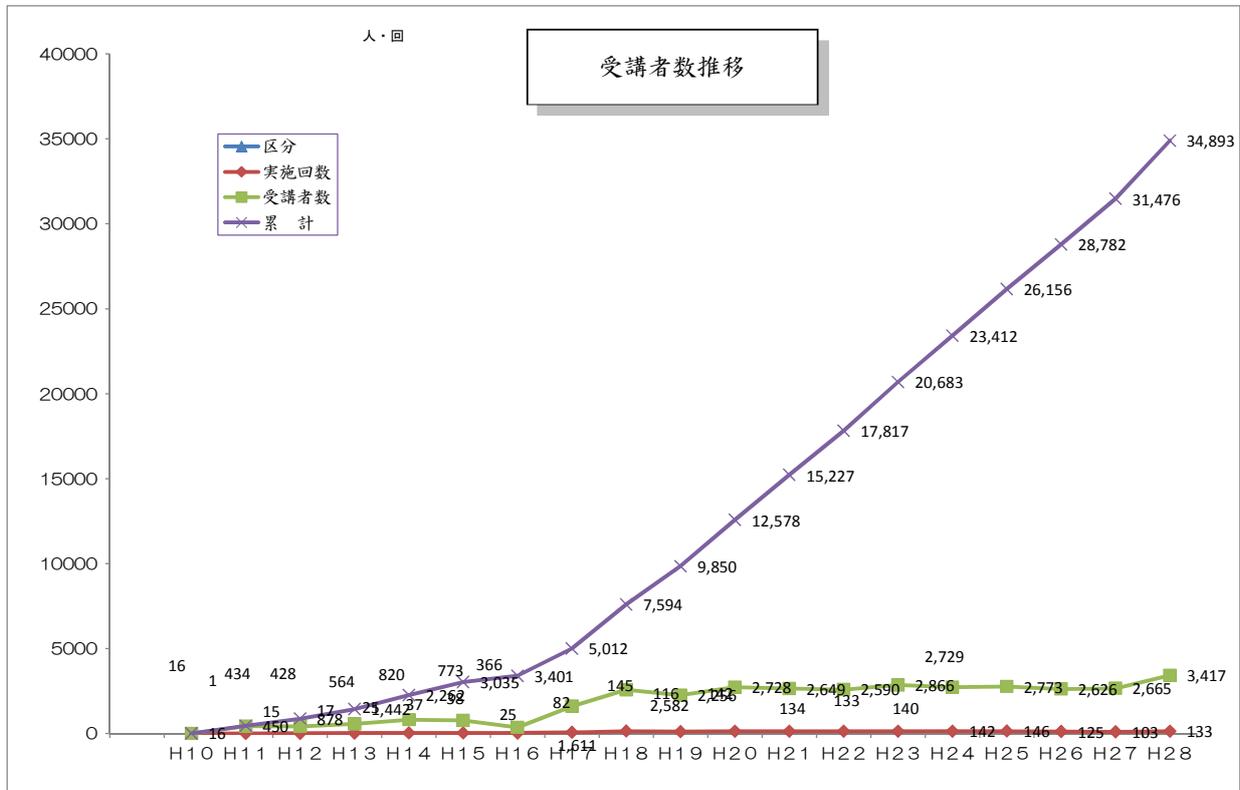
年 区分	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
	実施回数	1	15	17	25	37	38	25	82	145	116	142	134	133	140	142	146	125	103	133
受講者数	16	434	428	564	820	773	366	1,611	2,582	2,256	2,728	2,649	2,590	2,866	2,729	2,773	2,626	2,665	3,417	
累計	16	450	878	1,442	2,262	3,035	3,401	5,012	7,594	9,850	12,578	15,227	17,817	20,683	23,412	26,156	28,782	31,476	34,893	
受講割合	全市民	0%	0%	1%	1%	2%	3%	3%	5%	7%	10%	12%	15%	18%	21%	23%	26%	30%	32%	36%
	初回受講者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60%	77%	76%	79%

※ H17～ AED（自動体外式除細動器）を含む講習にした



初回	2706人
2回目	388人
3回目	136人
4回目	82人
5回目	37人
6回目	27人
7回目	13人
8回目	9人
9回目	7人
10回目	7人
11回目	4人
12回目	1人

受講状況（平成二十八年）



12 CPA患者社会復帰状況

区分	年													
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
CPA患者数(人)	72	84	66	98	77	78	86	110	105	71	88	88	77	
バイスタンダーCPR実施率(%)	15.3	32.1	36.4	42.9	40.3	46.2	33.7	38.2	41.9	36.6	43.2	51.1	58.4	
CPR口頭指導(件)	—	27	11	24	32	41	32	48	54	33	45	42	42	
CPR実施率(%)	—	59.3	81.8	62.5	56.3	58.5	43.8	58.3	64.8	57.6	66.6	83.8	66.7	
蘇生率(%)	0.0	0.0	9.1	17.3	14.3	12.8	20.9	19.1	19.0	19.7	15.9	23.9	27.3	
社会復帰者(人)	0	0	2	6	6	4	2	4	3	3	0	4	1	
社会復帰率(%)	0.0	0.0	3.0	6.1	7.8	5.1	2.3	3.6	2.9	4.2	0.0	4.5	1.3	

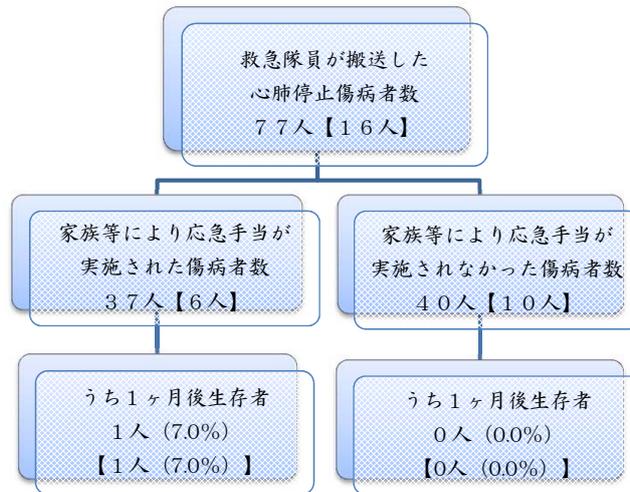
*CPA・・・CardioPulmonary Arrestの略で、心肺停止のことをいう。

*CPR・・・CardioPulmonary Resuscitationの略で、心肺蘇生法のことをいう。

*バイスタンダー・・・救急現場に居合わせた人(発見者、同伴者等)。

*社会復帰・・・心肺停止により救急搬送された人が、回復により歩いて退院したことをさす。

応急手当の救命効果

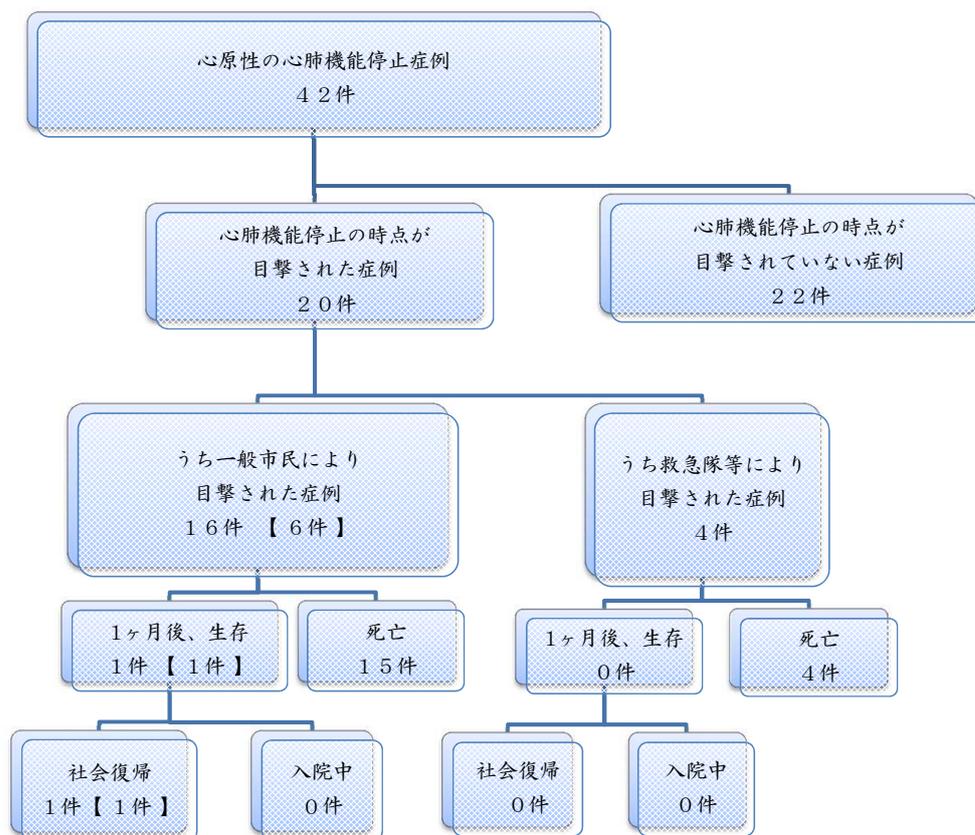


※【 】内は、各項目のうち心肺停止の時点が市民により目撃された心原性の傷病者の数

平成21年からの状況

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
救急隊が搬送した心肺停止患者数(人)	78	86	110	105	71	88	88	77
家族等バイスタンダーCPR実施数(件)	36	29	42	44	22	38	43	37
うち、1ヶ月後生存者(人)	5	1	4	3	3	3	3	1
生存率(管内%)	13.9	3.4	9.5	6.8	13.6	7.9	7.0	2.7
生存率(全国%)	5.1	6.5	4.8	6.2	6.4	6.8	7.0	—

心原性で心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後生存率及び1ヶ月後社会復帰率



※ 【 】内は、各項目のうちバイスタンダーによるCPRが実施された症例

平成17年からの状況

区分	年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
心原性の心肺機能停止症例(件)		47	30	51	46	35	46	54	62	44	58	58	42
心肺機能停止の時点が目撃された症例		17	15	21	15	17	20	26	17	21	32	25	20
うち一般市民により目撃された症例		12	12	19	12	15	15	21	12	19	27	19	16
1ヶ月後生存(人)		0	1	4	3	1	3	5	3	3	2	2	1
生存率(管内%)		0.0	8.3	21.1	25.0	6.7	20.0	23.8	25.0	15.8	7.4	10.5	6.3
生存率(全国%)		7.2	8.4	10.2	10.4	11.4	11.4	11.4	11.5	11.9	14.8	13.0	—
機能良好または退院(人)		0	1	3	3	1	1	4	2	1	0	2	1
社会復帰率(管内%)		0.0	8.3	15.8	25.0	6.7	6.7	19.0	16.7	5.3	0.0	10.5	6.3
社会復帰率(全国%)		3.3	4.1	6.1	6.2	7.1	6.9	7.2	7.2	7.9	10.7	8.6	—
うち救急隊等により目撃された症例(件)		5	3	2	3	2	5	5	5	2	5	6	4
1ヶ月後生存(人)		0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	0
生存率(%)		0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	16.7	0.0
機能良好または退院(人)		0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
社会復帰率(%)		0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
心肺機能停止の時点が目撃されていない症例(件)		30	25	30	31	18	26	39	45	23	26	33	22

『救急車が到着するまで・・・この手で救える、あなたの命。』

Satsumasendai city Fire Dept.